

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回文化芸術推進審議会
開 催 日 時	令和6年2月2日(金) 午前10時00分から 午前11時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 3階301会議室
出席委員(者)氏名	高田明充委員、廣瀬正子委員、小松弥生委員、渡辺弘委員、 金澤美智子委員
欠席委員(者)氏名	
担当課職員職氏名	生涯学習課 岩上勉課長、山崎弘輝主査、尾花香穂主事
会議次第と会議の公開又は非公開の別	<p>《会議次第》</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和6年度文化芸術事業について</p> <p>(2) 令和5年度文化芸術を総合政策として活用した事業について</p> <p>(3) 吉川市文化芸術推進基本計画の進行管理方法について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p>《公開又は非公開の別》</p> <p>公開</p>
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	<p>次第</p> <p>資料1 令和6年度文化芸術事業</p> <p>資料2 令和5年度「文化芸術を総合政策として推進するための基本的な方針」取組み状況調査票</p> <p>資料3 令和4年度文化芸術事業実績報告書(案)</p>

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	廣瀬正子委員、渡辺弘委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 高田会長あいさつ</p> <p>3 議事 会議録署名委員の指名について、廣瀬正子委員、渡辺弘委員を指名。</p> <p>(1) 令和6年度文化芸術事業について</p>
高田会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・資料に基づき説明。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・説明に意見や質問はあるか。
小松委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生俳句探検団について、俳句を詠んだ後の事業展開はあるのか。 ・文藝よしかわの応募に繋がっている。
小松委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護事業にある八坂祭りの調査は文化財愛護事業の文化財展に結びついているということで良いか。 ・そのとおりである。企画の段階ではあるが、地域の方と調整しながら何か祭りに関する物を借りることができるものがあれば一緒に展示できればと思っている。
小松委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この八坂まつりは現在も吉川で行われているお祭りなのか。 ・平沼という地区が中心となって今も行われているが、市内全域にスポットを当てて展示できればと思っている。
小松委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・八坂まつりは市内の色々なところで行われていたのか。あるいは平沼で開催されていたお祭りを八坂まつりというのか。 ・名称は違うかもしれないが、祭りの目的は一緒だったと思う。八坂まつりは夏祭りとして市民に認識されているため「吉川の夏祭り“八坂まつ

小松委員 事務局	り”」と表現させていただいた。
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・八坂の由来はあるのか。 ・市内の芳川神社境内に八坂神社があり、それを祭るのが八坂まつりである。神輿の担ぎ手が減少傾向にあり、そういったことも含めて何か展覧会で伝えることができると考えている。
渡辺副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭には俳句の展示がなかったところ。文藝よしかわに限らず、文化祭にも展示してみてもどうか。子どもの作品の発表の場があれば保護者の観覧につながり、俳句探検団の周知にも繋がるだろう。
渡辺副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句探検団は誰でも参加できるのか。 ・広報等を通じて募集しており、小学生は誰でも参加可能である。
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を詠んだ後に、ネットを介して講師からアドバイスをもらえるようにしても面白いだろう。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌にも子どもの俳句を掲載することができる。「募集します」ではなく、枠を設けて各学校輪番で掲載してみても良いのでは。保護者が広報誌を見るようになるかもしれない。
高田会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが関わると保護者の参加にも繋がり盛り上がる。文化祭も含めて発表の場の創出を検討してみたい。
高田会長 金澤委員	<p>(2) 令和5年度文化芸術を総合政策として活用した事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・資料に基づき説明。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・説明に意見や質問はあるか。
金澤委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもやアトリエに来ている子どもたちに意見を聞いてみた。演劇公演に関しては知っている子どもが少なかった。紙や市のメールで周知の機会は多かったように感じるが、それでも知らない。受け取っているのは保護者であり、保護者が見ないと子どもも見ない。演じることにしても恥ずかしく思っているようであり、もったいなく思う。また、無料公演についても恩恵はその保護者であり、子ども達は無料であることについて特段の感想はないようである。子ども達は「面白そうだ」「興味がある」ということがあって観劇に繋がるものと考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・思いつく限りの周知方法は試したが、難しい課題である。
金澤委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一つは地道に続けていくしかないのだろう。 ・今後市の文化として定着していけばと思う。令和5年度公演について、子どもの参加者数は最多だった。また、参加している子ども達も「緊張はしていない」と非常に意欲的だった。現在は種を蒔いている状況であり、今後花開いて欲しいと思っている。

渡辺副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇公演の内容について改めて教えて欲しい。 ・吉川市の昔話がベースとなっており、キツネとタヌキの化かしあいと自然保護が絡んだ内容である。令和6年度は原作を一新するが、吉川市を舞台にと考えている。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の問題は難しい。目では見えても入ってこないことがある。文化として定着すればまた変わると思うので、地道に進めていき、ロコミで広げることも必要だろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こういったイベントにロコミは有効であると認識している。委員の皆さまのご意見のとおり、まずは地道に続けていきたいと思う。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、いくつか意見を述べさせていただく。税金に関する展示については、子ども達は税金のことを学んでいない中でこのイベントに手を付けなければいけない。丁寧に伝えたいので取り組んだ方が良いでしょう。同様のことが、なまずのぼりにも言える。なぜ吉川がなまずなのか、それをきちんと学んでからの方が良いのではないだろうか。
廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・少し話が変わるが、この調査票にもある「平和のつどい」で歌を歌うのだが、もともと「当番だから」という程度の認識しかなかったが、歌の先生から「どういう縁で歌うようになったのか、そして平和のつどいはどのような趣旨で実施しているのか、それらを理解せずに選曲することと、理解したうえで選曲するのでは違う」と指導いただき、様々なことを調べ、学び、そのとおりと感じた。こういった事業に参加することは改めて学ぶきっかけにも寄与するだろう。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・なまずのぼりについて、小学4年生になったら作成するということが自体は定着しているが、その趣旨をとると先生方も忙しいだろうし、何か良い方法はないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・商工課ではなまずの冊子を作成しているので、有効活用しきれていないのだろう。そういったご意見も担当部署に情報提供させてもらいたい。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一方で、みんなの将来の夢コンテストは皆喜んで応募している。賞をとるとお菓子がもらえるからのものである。それが魅力的らしく、商品が出るから勝てる絵を書こうと思うようである。
渡辺副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・パティシエになりたいと思う子どもは多いので、それも関係あるだろう。様々な意見が出てきたが、郷土愛の醸成は簡単ではないと感じる。そのようなすごいお店が吉川にあり、みな喜んで参加している一方、なまずに関しては苦戦していると。そのバランスを取らないとこの先難しいように思う。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の熱量が違う。この事例は何かの参考になるのではないだろうか。

廣瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館フェスティバルでなまずのサンドイッチを売っていたことがある。売れ行きも良かったようで、続けていけばなまずを食べたことがある人も増えていたかもしれない。市外の人の方が意外となまずに触れているかもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、市全体で、まずは市内に向けて宣伝していかなければいけないと整理しているところである。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷のよさこい祭りも定着したことで名物となった。続けていくことが大事に思う。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が乗れば続くということで、需給がマッチしたのだろう。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者アート展」だが、名称の変更を検討してみてもどうか。また、どういったところに周知を図ったのか。施設、学校、情報は行き渡っているのか。飾り方を工夫することで、作品のクオリティに左右されず魅せる方法はあるので、もう少し工夫できる余地があるように思う。
渡辺副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい」という言葉は最近使われておらず「アール・ブリュット」やさらに外国人等も含めて「インクルーシブ」など「皆の」と意味の言葉が使われている。この名称の変更も検討しないと限定されたイメージとなってしまう。さらに議論を深めて「障がい福祉課」という部署の名称も果たしてこのままで良いか検討しても良いかもしれない。
金澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「市展」にも同じことが言え、どこに情報を周知したのか。小中学校から障がい者施設まで周知を図ったのか。
高田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・横の連携の強化も必要だろう。生涯スポーツということであればスポーツ推進課との連携も考えられる。市展も自治会を通じて等、広く浸透できるものがあるのではと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市展に関しては学校に情報提供できていなかった。今回は学校にも周知できるようにと考えている。障がい福祉課とも情報共有して連携していければと思う。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> ・このアート展は何かテーマはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料がないので申し訳ないが、なかったと思う。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の紹介ということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。市役所で展示を行い、良いと思った作品に投票して表彰を行っている。
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの意見と重なるが、そのやり方を続けることが本当に良いのか、検討が必要だろう。 ・話が変わるが、先ほど学校の宿題の話題があったかと思う。学校現場にいたわけではないが、学校には膨大な量の協力依頼が届いているのが現実で、なまずもそのうちの一つに埋もれている可能性がある。学校は夏

<p>廣瀬委員 金澤委員 小松委員 高田会長 事務局</p>	<p>休みの宿題にするなど工夫はしていると思うが、どのように工夫するか、サポートしてあげないと手が回らないかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校も大変ということですね。 ・学校の先生も、吉川の方でないと分からないこともあるだろう。 ・それであれば、まずは先生方に吉川の郷土教育を行うことも必要かもしれない。現地に赴かなくても動画という方法も今はある。 ・なまずをキャラクターとして好きな人も意外といて、なまずサミットに来ていた。そこにヒントもあるかもしれない。 ・市のマスコットキャラである「なまりん」について子ども達は皆知っているので、そういったところも活かしていきたい。
<p>高田会長 事務局</p>	<p>(3) 吉川市文化芸術推進基本計画の進行管理方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・前回会議のご意見を踏まえて報告書の形式を改良した。ご意見を伺いたい。
<p>廣瀬委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市展の内容についてだが、入選率100%とある。出せば全て入選なのか、あるいは審査したうえで全てが入選となったのか。 ・会場の大きさも踏まえつつ、全ての作品を審査したうえで入選となった。たとえ会場に余裕があったとしても、公募展であることから入選に至らないということもありえる。
<p>高田会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周知について、もっと広げても良かったのではと思う。自治会の掲示板の活用や吉川駅との連携ができれば。会場にたまたま来た人だけでなく、幅広く周知できる方法の検討が今後必要である。 ・前回、周知方法については足りない部分もあったと認識している。拡充できるように検討していきたい。
<p>渡辺副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇事業についてだが、来場者や市民キャストのアンケートは実施しているのか。 ・実施している。好意的な意見が多い一方で、さいたま芸術劇場様とともに取り組んでいた時から参加されている方々からは、セリフの数が少ないとご意見をいただいている。
<p>渡辺副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稽古の参加頻度や予算のことなど、報告書にもう少し捻りを加えた方が良いと思う。 ・観劇した方の声や参加者の声なども入れると面白いと思うので、検討したい。
<p>渡辺副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善が必要な意見もあることで次につながると思う。ご検討いただきたい。

高田会長	・課題にあるように、プッシュ型のインフォメーションも展開していった欲しい。
金澤委員	・演者は年配の方が多いように思うが、実際に観劇に来られる方の年齢層はどのような状況か。
事務局	・時間に余裕のある高齢者が多い印象だが、プロが入ったことで遠方からのファンの来場者が見られた。
高田会長	・アンケートに関して、知りたいことをきちんと聞くことが重要。文化連盟主催の文化芸術祭でアンケートを取ると「楽器演奏が良い」という結果になるが、楽器演奏が好きだから来ている人が多いため当然の結果となってしまう。これは一例だが、取り方に工夫が必要な場合もある。
廣瀬委員	・その文化芸術祭についてだが、チケットは文化連盟を通じて多くの方にご購入いただき、当日は文化連盟以外の方からも多数の方にご購入いただいたが、実際の来場者数は売上枚数よりも少なく、義理でチケットを購入いただき当日は来ない方々が一定数いた。もったいないと思うとともに、売った枚数と実際の来場者のバランスを改善していきたい。たとえば興味がなくても来てもらえる、その方法を検討していきたいと思っている。
高田会長	・来てもらうための企画を考えるにあたり、アンケートは一つのポイントになるので、毎回同じようなアンケート結果にならないような聞き方を考えていきたいと思っている。そして、一番効果が期待できるのは口コミだと思う。良い内容を重ねて、それが口コミで広がっていけばと思う。
渡辺副会長	・入場料無料にすれば来るかというところではなく、500円は義理で買ってしまおう。本来は2,3,000円するものであれば、高い方が良いという意識もあり、本来の価格設定にした方が人は来ることもある。難しい問題だと思う。
廣瀬委員	・文化連盟は営利団体でないため価格設定は悩ましいところである。
事務局	・公民館という性質上、営利活動はできかねる。そのため、たとえば黒字になった場合は寄附するといった方法が必要である。
高田会長	・今日は様々なご意見をいただき感謝する。議事は以上となるため進行を事務局に返す。
	4 その他 なし。
	5 閉会 渡辺副会長あいさつ

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年3月15日

署名委員 渡辺 弘（自署）

署名委員 廣瀬 正子（自署）